

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	人工透析通院交通費助成		基本目標	障がい者の自立と社会参加の促進		
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	押川 嘉子	評価者	井上敏郎
			開始年度	H10	年度	
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	本町に住所を有する人工透析を受けている方									
	意図・目的	透析患者の通院交通費助成をおこない、経済的負担の軽減を行う。									
事業の内容	人工血液透析治療を受けている者に対し、通院するために公共交通機関へ支払った交通費の助成を行う。 (限度額 町内3,000円/月 町外4,000円/月)										
平成22年度決算額	70	千円	23年度予算額	228	千円	事業従事者数	H22 0.02	人	H23 0.02	人	
主な支出項目	扶助費	千円	国庫支出金	千円	22年度人件費	144 千円					
		千円	県支出金	千円	23年度人件費	143 千円					
		千円	地方債	千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		0.0	%			
		千円	一般財源	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください						
		千円		千円							
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名								
	補助交付団体		補助金要綱								
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円	終期	年度	
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等						
		補助の割合	#N/A	%							
繰越額		#N/A	円								

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 助成件数	公共交通機関を利用して人工血液透析療法を受けている障がい者の負担軽減を図る。	
	2 助成額	公共交通機関を利用して人工血液透析療法を受けるために要した経費の負担軽減額。	
	3 助成実人員	実際に何人の人工血液透析患者の負担軽減が図られたのか。	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1		
	2		
	3		

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	助成件数	目標値	15	5	10	
		実績値	15	5		
		達成率	100.0%	100.0%		
	助成額	目標値	円	1,800,000	228,000	228,000
		実績値		140,500	70,000	
		達成率	%	7.8%	30.7%	
	助成実人員	目標値	人	6	3	2
		実績値		6	3	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
活動指標	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	人工透析通院交通費助成	担当課(局)	健康福祉課
-------	-------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		
		自己評価	委員評価	
(必 妥 当 性 性)	事業廃止を検討したが、1日おきに通院を必要とする透析患者の負担軽減に寄与しており、平成20年度より公共交通機関を利用した場合のみ助成することとなった。透析患者はほとんどが重度障がい者への医療助成を受けており、病院によっては送迎をしているところもある。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	0	-	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-	
有 効 性	重度障害者への軽減は図られてはいるが、公共交通機関を利用して人工透析療法を行ったものは、ごくわずかである。平成20年度の改正で、継続の要望もかなり寄せられたが、宮崎市の方式(住民税非課税世帯にガソリン券を支給)なども検討し、事業のあり方を再考する必要がある。	◎目標に対して成果は得られているか	0	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-	
効 率 性	年々人工血液透析患者は増えていると思われるが、公共交通機関利用に限定したで、経費や時間は大幅に削減された。もともと4半期に1回の申請としているため、これ以上の事務の削減は厳しい状況にある。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	0	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-	
協 働 性	可能性はない	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)			9	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公 益 平 性 性)	人工血液透析療法の通院患者のみ助成のため外の障がい者との不公平感がある。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
		◎町民の理解が得られる事業であるか		-
		合計(最高4点)		
そ の 他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総 合 評 価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	医療機関への交通費助成は本事業のみであり、今後の傷病で通院する障害者との整合性など、廃止を含めて検討する必要がある。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
				○		
						コスト

事務事業評価委員会 評価欄	事業	廃止	◎他の疾病で通院する患者との整合性もあり廃止の方向で検討してもらいたい。 ◎他の障害者も含め、交通弱者に対する支援は必要と思われるので、継続あるいは廃止となっても、その判断となるべき基準を明確にしておくべきである。 ◎利用者の数は少ないが、児湯郡管内でも人工透析患者のみ交通費の補助を行っており、制度の継続が必要であると考えます。
	コスト	廃止	
	委員評価	-	
	外部評価	-	